

2021年1月14日

日本ユニシスグループ 「Azure VMware Solution」の提供を開始 ～自社基幹システムの移行・統合ノウハウを活用し、顧客のDX化を支援～

日本ユニシスグループは、日本マイクロソフトが提供する「Azure VMware Solution」サービスを本日から販売開始します。日本ユニシスグループは、自社の基幹システムの一部であるオンプレミスのVMware 仮想環境基盤を Azure VMware Solution 上に統合しました。本移行ノウハウおよび VMware 製品の構築・保守運用の経験・実績を基に、クラウド利用支援サービス「CLOUDForesight」として、ハイブリッド環境のサポートを強化しています。これにより、オンプレミス環境からクラウドへの移行を加速させ、環境の変化に柔軟に対応できるお客さまのDXを支援します。

【背景】

ビジネス環境の変化に迅速に対応するためクラウドの積極的な活用が求められるなか、現在運用しているシステムの信頼性、可用性を継続的に維持することが重要です。日本ユニシスグループは、デジタルトランスフォーメーション (DX) の加速に向けて、2018年に「クラウドDXセンター」を開設、クラウド利用支援サービス「CLOUDForesight」として、お客さまのオンプレミス環境を Microsoft Azure へ移行するとともにDXにつながるクラウド活用を支援してきました。並行して自社のDX化も推進し、基幹システムのMicrosoft Azure 移行を順次進めてきました。

自社の基幹システムの一部を構成するVMware 仮想環境基盤は、高品質の運用を維持しつつも、ハードウェアのサポート終了や複数拠点に環境が分散されているという課題がありました。日本ユニシスグループでは、これらの課題を解消しつつ既存運用への影響を最小限に抑えるために、2020年9月に日本マイクロソフトが提供を開始した Microsoft Azure 上の VMware SDDC^(※1) 環境である「Azure VMware Solution」に着目し、正式提供前から日本マイクロソフトとヴェイムウェアの支援を受けながら検証を重ね、Azure Migrate^(※2) を用いた事前検証によるコスト低減と VMware HCX^(※3) を利用した移行により、短期間かつ最小限のダウンタイムで、複数拠点のオンプレミス上の VMware 仮想環境基盤を Azure VMware Solution に移行・統合しました。

※1 SDDC: Software Defined Datacenterの略。VMware 社が提唱するコンセプトで、ネットワークの制御をソフトウェアで行うSDNの概念をデータセンターに当てはめ、ネットワークだけでなく、データセンターにおけるすべてのITに仮想化を広げ、データセンターをまるごと仮想化しようという考え方。

※2 Azure Migrate: 他のクラウド環境やオンプレミス環境で稼働しているマシンを「Microsoft Azure」に移行する際のサポートツール。

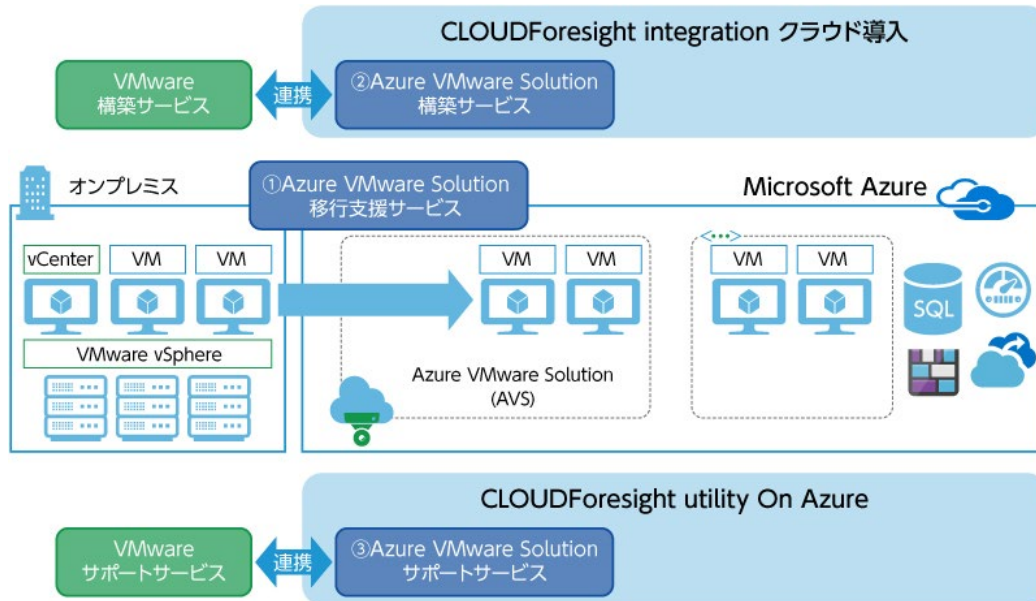
※3 VMware HCX: オンプレミスとクラウドのハイブリッド化を促進し、さまざまなVMware vSphere のバージョン間において、アプリケーションを自由に移行とデータセンターの拡張を可能にするプラットフォーム。

【概要】

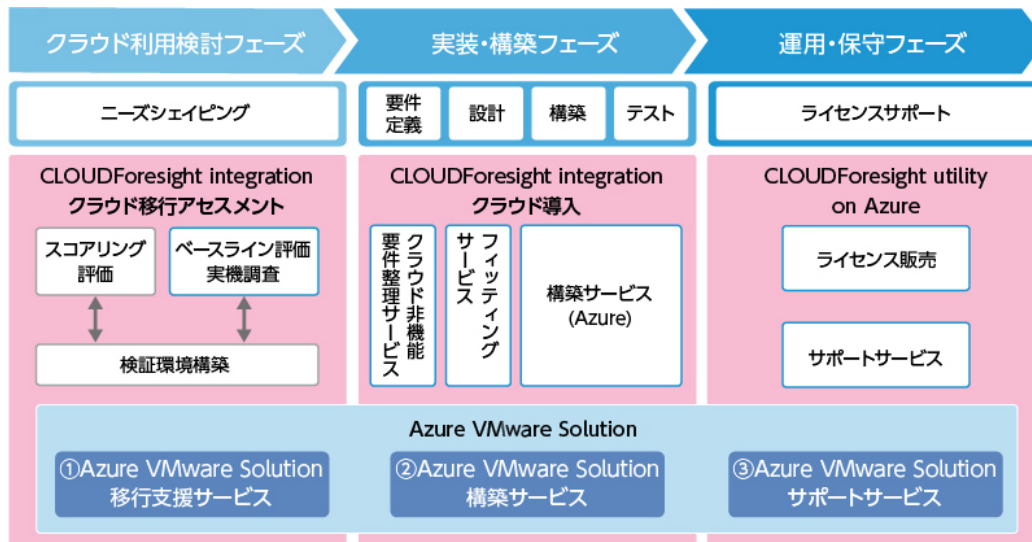
Azure VMware Solution は、お客さまのオンプレミス上の VMware 仮想環境を安全かつ短期間でクラウド環境に移行・統合することに寄与します。

日本ユニシスグループでは、Azure VMware Solution の自社導入で蓄積したノウハウと、VMware 製品の構築・保守運用の実績をもとに、「クラウドDXセンター」が提供するクラウド利用支援サービス「CLOUDForesight」に、「Azure VMware Solution」関連サービスを追加します。本サービスは、オンプレミスの VMware 仮想環境基盤からの効率的な移行計画の策定や運用設計などを含めて、Azure VMware Solution 環境の構築/サポートをワンストップで提供します。

【Azure VMware Solution 関連サービスの概要】



【クラウド利用支援サービス CLOUDForesight の概要】



① Azure VMware Solution 移行支援サービス

オンプレミス環境のVMware 仮想環境基盤上の仮想マシンの移行可否調査、および Azure VMware Solution への移行作業を支援するサービスを提供します。

② Azure VMware Solution 構築サービス

Azure VMware Solution の環境構築を行うサービスを提供します。

③ Azure VMware Solution サポートサービス

Azure 環境と合わせて、オンプレミス環境のVMware 仮想環境基盤の保守サポートノウハウを生かした Azure VMware Solution のサポートを提供します。

【今後の取り組み】

クラウド DX センターでは、オンプレミス環境の Azure VMware Solution への移行を加速させ、ハイブリッドクラウド環境のサポートを強化することで、お客さまの DX をさらに支援します。日本ユニシスグループは、クラウド DX センターが支援する DX およびその関連ビジネスで、今後3年間で300億円の売上を目指します。

以上

【エンドースメント】

日本マイクロソフト株式会社
執行役員 常務 パートナー事業本部長 檜山太郎 氏

この度の日本ユニシスグループ様の「Azure VMware Solution」の提供開始を心より歓迎します。

日本ユニシスグループ様では、DX 変革加速を目的として基幹システムソリューションを順次 Microsoft Azure に展開されており、このたび自社グループにて「Azure VMware Solution」を採用されました。

現在多くの企業で、事業継続やビジネス環境の変化にスピーディーに対応するため、クラウドの活用が求められています。両社の連携を一層強化し、日本ユニシスグループ様との Azure VMware Solution 関連サービスの提供を通じて、顧客企業のデジタルトランスフォーメーションに貢献してまいります。

ヴイエムウェア株式会社
執行役員 ソリューションビジネス管掌 秋山将人 氏

ヴイエムウェアは、日本ユニシスグループ様がパブリッククラウド提供サービス「CLOUDForesight」から Azure VMware Solution の提供を開始することを歓迎します。

ヴイエムウェアと日本ユニシスグループ様は、2000 年代初頭の国内仮想化黎明期からのパートナーシップを通じ、お客さまのプライベートクラウド構築や DX 推進に向けたマルチクラウド活用を促進してきました。

この度の日本ユニシスグループ様における自社システムの Azure VMware Solution への移行によって培った実績、ノウハウを「CLOUDForesight」に追加することによって、お客さまの円滑なクラウド移行と、更なるマルチクラウドの活用が進むものと確信しています。

今後もヴイエムウェアは、日本ユニシスグループ様とのパートナーシップのもと、お客さまの Any Application on Any Cloud を実現する Digital Foundation の提供に努めてまいります。

※CLOUDForesight は、日本ユニシス株式会社の登録商標です。

※Microsoft、Azure は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※VMware、VMware HCX、VMware vSphere、VMware vCenter は、VMware, Inc.の米国および各国での登録商標または商標です。

※その他記載の会社名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

■ 関連リンク

クラウド DX センター <https://www.unisys.co.jp/solution/tec/cloud/cloudddxcenter/>

CLOUDForesight <https://www.unisys.co.jp/solution/tec/cloud/sol/cloudforesight.html>

<本ニュースリリースに関するお問い合わせ>

https://www.unisys.co.jp/newsrelease_contact/